

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 6
2020・5・13

1 各州農業大臣会議：外国人季節労働者の衛生状態の管理徹底
(2020・5・8)

各州の農業大臣会議で外国人季節労働者の感染症対策の徹底を

連邦農業大臣クレックナーは、各州農業大臣会議において、特に外国人季節労働者の健康監視と維持に際して、各州の責任を強調した。また、EU 一共通農業政策の改革も議論した。クレックナー大臣は、今日（5月8日）の農業大臣会議において各州の外国人季節労働者入国のための義務を、遵守するよう要請した。健康上の労働者保護並びに宿泊一衛生状態の監視は、周知のようにこの権限の中に規定されている。

この会議に先行して既に、連邦農業省次官ベアーテ カッシュ (Beate Kasch) が、各州次官に要請を協議し、そして各州の状況報告を求めた。連邦農業省はさらに、郡との話し合いにおいて現地での保健所職員との密接なコンタクトを提案した。クレックナー大臣：外国人季節労働者の入国許可中止の後の共通の要望（各州大臣も）は、打開策を見出すことである。農産物の収穫と播種は、確保されねばならない。

これは我々の省が連邦内務省と共同で、そしてロベルト コッホ研究所 (Robert-Koch-Institut) の関与のもとに提案された。我々は、外国人労働者の入国の責任ある「玄関」を、厳格な感染症防止義務のもとに創り出す。この規定に関する国民の受容を維持するために、今各州が問われている。憲法に適合した規則の遵守と義務、そして衛生上の効果的な監視が課題である。特に多くの農業経営が規則を遵守するという意味においても、この責任に対応しなければならない。”連邦省は農一食料業の機能性強化を、一連の政策でもって支える。さらに学生、退職者、短期労働者のための補完収入の限度額引き上げ、経営の当座資金確保のためのプログラムが挙げられる。季節労働力が 70 日の代わりに 115 日に、社会保険免除で就業可能になった。

その上、これによって農業経営における労働が負担軽減された。つまり、他の経営への移動が減り、それに伴って感染症の危険が少なくなった。農一食料業は、この危機において自らの能力の可能性も立証する”と、クレックナーが強調した。

EU－共通農業政策（GAK）

この各州農業大臣会議で、EU－共通農業政策の改革が議論された。コロナーパンデミックに対する行動スケジュールが変更された。そのため、夏休み後最初のヨーロッパ議会における調整がおこなわれる。なぜならば、GAKの新しい規定が2023年1月1日前に適用されないことになるので、このことからの脱却が必要である。連邦大臣クレックナーは、連邦政府が2年の移行期間規定を設定することを、農業大臣会議で強調した。

このことは、EU－補助金の直接支払い並びに様々な奨励プログラムを、継続的に確保することとなる。クレックナー大臣はさらに続けた：“我々はコロナーパンデミックによる追加的な挑戦にも拘わらず、農家収入の安定、環境－気象保護並びに農村地域の発展といった、GAKの中心目標に対する行動上の焦点を、維持しなければならない。”

EU－共通農業政策は、ヨーロッパの独自の立場の特徴を示すものである。

そのため、他の戦略の下位に従属しない重要性を有している。これは政策上の賢明な組合せを必要とする：グリーンディール（Green Deal－訳注・ヨーロッパ温室効果ガス排出量ゼロ構想、農場から食卓までの戦略、EU－共通農業政策）そして予算は、一緒に考えねばならない。その際、農業に対する社会的に高度な要請は、財政的にも補償されることが明確でなければならない。そのため、我々は十分な資金調達を必要とする。

2 連邦政府は森林火災の防止と火災克服プロジェクトを推進

－連邦森林省と連邦環境省共同で研究モデル－（2020・4・29）

連邦森林省と連邦環境省は、増大する森林火災と巨大な森林被害に対して、22の新しい研究モデル計画を認可した。過去年における高温と乾燥によって、ドイツでは森林火災が増加している。この危険を減らしそして目的に応じて闘うために、連邦森林省（BMEL）並びに連邦環境・自然保護・原子力安全省（BMU）は、計22の研究－モデル計画を奨励する。

過去2年間に多くの森林火災によって、両連邦省は2019年にプロジェクト奨励者の呼びかけをスタートさせた。このプロジェクトは、今連邦レベルで5月1日にスタートし、そして合計1 130ユーロ（約13億5 600万円）の額になっている。この資金は共同金融森林基金（WKF）に由来している。

連邦森林大臣ユーリア クレックナー（Julia Klöckner）：”我々の森林は、持続的にストレスを受けている。2年間の乾燥年の後、樹木がより強く迫られている今年の春の干ばつに、脅かされている。森林火災の危険は、現在再び高まっている。我々は2018年単独で火災によって、約3300のサッカー場に相当する森林地を喪失している。我々は奨励プログラムによって、この危険を効果的に阻止したい。

我々の森林を火災の危険からより良く守りたい。その際、我々は広範に立ち向かうために、「調整ネジ」で方向を変えたい。つまり、より多くの啓蒙活動、集中的な研究、適切なネットワーク並びに気象変動に対応し安定した森林改造、さらに我々と各州の共同で8億ユーロ（約960億円）を、森林火災予防のために、森林一支援一連対策から、様々な政策に充当できる。”

連邦環境大臣スベニア シュルツエ（Svenja Schulze）：”気象変動は我々の森林に明確に現れており、我々は大きな懸念を抱いている。過去両年度の干ばつは、森林のために最悪の結果をもたらし、そして今年もまた既に継続している乾燥状態と、より高まっている森林火災の危険が迫っている。ドイツは、気象変動の不可避の部分に対する適応について、森林改造を必要としている。

例えば、混交一広葉樹林は純粋な針葉樹林よりも、極端な天候により良く適応できる。我々は新しいプロジェクトでもって、森林の抵抗力を強化し、そして森林火災の場合に被害を限定させるよう試行する。このプロジェクトは今後の干ばつ期間を、より良く克服するために支援される。そして基本的な研究活動一例えば生態系上、林業上そして森林火災の技術的知見を拡大する。

気象学的、または将来得られる学術的知見のデータでもって、森林火災の危険性を推測する。同じく被災地での防火、そして気象的に弾力性のある森林一発展のための戦略が展開される。その際、同じく抱卵鳥、動物、キノコ、土壌生物、土壌の特質の林学科上の変化と、その影響が調査される。さらに火災被害の克服、森林管理、火災予防のための消防隊に係るネットワーク化されたデータシステムが、構築されるべきである。”

さらなる計画でもって、森林火災防止のための社会メディアを通じて、若者のためにデジタル情報一啓蒙キャンペーンを実施する。火災防止上困難な森林地も研究対象である。その際、例えば森林を保護すべき林業技術の投入を試行し、作業の安全性のために森林所有者の手引き作成、森林火災のアフターケアの際の共同作業も策定される。森林気象基金を通じた奨励計画の概要は、プレス公告に添付されている。プロジェクトのさらなる詳細は、再生可能原料協会のプロジェクトデータバンク (www.fnr.de) で入手できる。

背景：

1708カ所の森林火災に際して、2018年に連邦域内で2349haの森林が燃焼した。これは連邦農業・食料庁（BLE）によると、26年来最も大きな森林火災であった。予防的な森林火災保護は、ドイツにおいて各州の権限であり、それは森林法において規定されている。森林気象基金は、2013年6月にエネルギー気象基金の構成部分として、連邦森林省（BMEL）と連邦環境省（BMU）と共同で開始した。

これは柔軟な奨励手段として森林と気象の接点に対して、課題解決のために適切に活用される。再生可能な原料協会は、1993年以来、連邦森林省の奨励プログラム「再生可能原料」のプロジェクト実施者として活動している。この協会は2019年1月1日以来、奨励指針森林基金の計画についても、プロジェクト実施者として取り組んでいる。

3 乳児・幼児のお茶に糖分の添加禁止（2020・5・12）

一糖分によるカリエス・肥満症の危険を避ける一

乳児と幼児（3~6歳）用のお茶に砂糖と他の甘い添加物投入を禁止する。

連邦食料・農業大臣クレックナーが、規則草案を提案し、連邦議会が今週金曜日（5月15日）に審議する。生まれて最初の1000日は、人間の栄養習慣の顕在化のために決定的である。そもそも最初から甘味の加わった飲み物の消費はカリエス（虫歯）、後の体重過多またはそれどころか肥満症の危険を高める。

それゆえにクレックナー大臣は、乳児・幼児用のお茶に砂糖と他の甘味料を添加することを、国内で禁止することに尽力している。この規則草案は、個々には以下のとおりである。

一 砂糖、蜂蜜、果汁（濃縮液）、麦芽エキスまたは他の植物性原料から得られたシロップ（濃厚な糖液）、またはデイクジュース（訳注・高濃縮、粘性果汁）は、乳児一幼児のお茶に添加を禁止

- 一 調理または加工に際して、砂糖と他の甘味添加物の断念を購入者と使用者に対する表示義務
- 一 この産物の使用できる年齢についての表示規準の提示
- 一 母乳を補う乳児用補充物（かゆなど）導入のための最低制限年齢は最低 4 カ月

クレックナー大臣の主張：

乳児・幼児に甘い飲料は不要である。なぜならば、砂糖と他の甘い添加物を、お茶と他の飲み物（乳・幼児にとって特別な調理）を求めている！これに慣れさせるトレーニングをすべきでない。そのため私は、適切な禁止を実施させたい。この禁止は、砂糖、脂肪、塩に関する我々の国内一革新戦略の重要な礎石である。この戦略でもって完成食品中の砂糖、脂肪、塩の高い含有割合を、効果的に減少させるべきである。

2020・5・13 訳

青森中央学院大学

中川 一徹